

2015 年度研究倫理審査結果

受付番号	開催日	課題	研究者	承認	備考
75	2015.4.22	中山間地域における慢性疾患患者の服薬アドヒアランスの要因	看護学研究科 景山 実保	○	
76	2015.4.22	災害に対する看護学生の意識調査	栗本 一美	○	
77	2015.5.8	チーム医療の成果に関する実証研究～感染対策のチームを対象とした調査～	山本 智恵子	○	
78	2015.6.3	成人看護学実習における看護学生の学習上の困難と困難克服のための教員の関わり	福本 仁美	○	
79	2015.7.1	A公立病院における多職種チームのチームワークとその成果に関する調査研究	山本 智恵子	○	
80	2015.7.1	慢性疾患を抱える子どもの理解～院内学級の実際について～	山本 裕子	○	
81	2015.8.5	食事の援助演習での学習効果に関する研究	山本 智恵子	○	
82	2015.8.5	主任児童委員の子育て支援活動の実態と課題	金山 時恵	○	
83	2015.8.5	子育てカレッジを活用した小児看護学実習の教育方法の検討と課題	上山 和子	○	
84	2015.8.5	質的統合法 (K J 法) を用いた教育評価と教員の研究手法への認識変化 (その1) 質的統合法 (K J 法) を用いて「基礎ゼミナール」履修学生の学びの評価 (その2) 質的統合法 (K J 法) 研修における参加者の研究手法獲得の認識と変化	上山 和子	○	
85	2015.8.5	腎不全患者の治療選択に関する学生の学習理解	掛屋 純子	○	
86	2015.8.5	最後まで自宅で療養したい人への支援についての学生の理解～グループワークでの学習理解と学びの分析～	掛屋 純子	○	
87	2015.8.5	基礎看護学実習Ⅱにおける自己効力感への影響因子	杉本 幸枝	○	
89	2015.9.2	看護学生が基礎看護学実習Ⅱにおいて医療事故の危険性を感じた場合と事故予防にとって大切だと認識した力	柘野 浩子	○	
90	2015.9.2	I C U 見学実習における看護学生の学び	柘野 浩子	○	
91	2015.9.2	看護学生が全実習終了後に抱く医療事故に関する不安と事故予防に対する認識	柘野 浩子	○	
92	2015.11.4	認知症サポーターキャラバンの役割と効果の検証	古城 幸子	○	
93	2015.11.4	肢体不自由者との接触経験と障害者のイメージの関連	棚田 裕二	○	
94	2015.12.2	「障害者スポーツと障害者イメージの関連」－障害者を理解する効果的な教育方法の検討－	棚田 裕二	○	
95	2015.12.16	“子どものこころ” に寄り添う看護師のコミュニケーション技術～児童思春期精神科病棟に勤務する看護師の語りからの分析～	看護学科 徳田 絢美	○	

96	2016.1.6	看護学実習における看護学生の倫理葛藤と道徳的感性	土井英子、杉本幸枝、山本智恵子、吉田美穂	○	
97	2016.1.6	介護福祉士の魅力的な職場環境調査	三上 ゆみ	○	
98	2016.1.6	発達障害児を持つ母親の障害受容課程の明確化と支援の現状と課題～母親が育てにくさを感じた時から障害の受け入れまでに焦点を当てて～	看護学研究科 加藤立子	○	
99	2016.1.6	非がん疾患高齢者の在宅死を支える熟練訪問看護師の支援のプロセス	看護学研究科 万代ゆかり	○	
100	2016.1.6	看護職者が子育てしながら働き続けられる要因－看護職者が求めることとその夫が求めること－	看護学研究科 岸本長代	○	
101	2016.1.6	頸髄損傷者に対する認定看護師の看護実践におけるアセスメントと食事支援のプロセス	看護学研究科 飯田 尚美	○	
102	2016.1.6	「認知症の高齢者のケア」授業前後の学生の認知症高齢者へのイメージの変化	木下 香織	○	
103	2016.2.3	看護学生の高齢者への偏見と高齢者のセクシュアリティに対する認識との関連	木下 香織	○	
104	2016.2.3	臨床看護師の死生観と看取りケアとの関連について	土井 英子	○	
105	2016.2.3	中山間過疎地域に居住する高齢者の防災意識と準備状況の実態調査	栗本 一美	○	
106	2016.3.2	小児看護学援助論「入院中の小児への遊びの援助」の授業に導入した子育てカレッジ見学実習の学習成果	上山 和子	○	
107	2016.3.2	自宅で生活している統合失調症在宅療養者の語り－スピーカーズ・ビューローの語り部として伝えたい事－	丸山 純子	○	
108	2016.3.10	電子カルテ教育システムを活用したロールプレイングによる呼吸の援助技術演習の教育効果と課題－看護学生の自己評価を基に－	土井 英子	○	

2015年度 研究倫理審査委員	八尋、佐々木、土井、伊藤、佐熊
-----------------	-----------------